

北九州市 在宅医療・介護連携支援センター 研修会実施一覧（令和元年度）

< N o . 1 >

	多職種連携研修会			医療介護従事者研修会		
	内容		参加者数	内容		参加者数
門司	7月29日	「知っておこう…余命短い患者様とそ のご家族への心の通った接し方について」 小倉医師会 緩和ケア・ケア・サービスひなたぼっこサロン縁 管理者 木村治世 新田医院 副院長 新田智之	143	6月26日	「高齢者を取りまく行政のサービスについて～介護保険以外にもある、さまざまなサービスについて学ぼう～」 門司区役所 保健福祉課 高齢者・障害者相談係長 大村昭子 いのちをつなぐネットワーク担当係長 川端成史 北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 いのちをつなぐネットワークコーナー相談・就労支援員 酒井美枝子	105
	11月6日	『神経難病患者様に対する介護や接し方』 事例検討「本人が住み慣れた自宅で生活続けるために、専門職の立場でどうアプローチするか話し合おう」 辻医院 院長 辻雄一郎 講演「40分で分かるか？神経難病」 門司メンタルセンター 神経内科部長 神経センター長 脳神経内科 由比友顕	113	12月12日 (門小戸合同)	「一笑一生！笑いコミュニケーション～初めましての場を和ませるコツを教えます～」 おしゃべりテーションの会代表 お笑い理学療法士 日向亭 葵	288
小倉	8月2日	「口から食べる幸せを支援するために～KTバランスチャートを利用した気づきの視点と多職種の関わり～」 NPO法人 口から食べる幸せを守る会 理事長 小山珠美	167	4月25日	「筋萎縮性側索硬化症の病態と諸症状への対応」 JCHO九州病院 神経内科医長 立石貴久	127
	10月10日	『口から食べる幸せを支援するために～事例をもとにKTバランチャートを活用して多職種で検討～』 グループワーク「食事量の低下と体重減少を認めた多系統萎縮症の方への・入院でのアプローチについて」 小倉リハビリテーション病院 診療技術部 管理栄養課主任管理栄養士 井村沙織 グループワーク「くも膜下出血を発症し寝たきり・胃ろうになった方の経口摂取への完全移行について」 小倉医師会会訪問看護ステーション 言語聴覚士 山田絢子	128	7月25日	『病院と病院の縦と横のつながりを深める研修会』 ワールドカフェ方式によるグループワーク テーマ①「病院の横をつなげるために他領域に聞いてみたいことを整理整頓！」 テーマ②「他領域に実際に聞いてみよう」 テーマ③グループ②で得た情報を基に「横のつながりを深めるために必要な事」について意見交換	84
	2月6日	講演「住み慣れた地域で自分らしく”食べる”、”生きる”」 九州栄養福祉大学食物栄養学食物栄養学科 教授 池本美智子 名刺交換会	204	12月12日 (門小戸合同)	「一笑一生！笑いコミュニケーション～初めましての場を和ませるコツを教えます～」 おしゃべりテーションの会代表 お笑い理学療法士 日向亭 葵	288
				2月8日	『病院と病院の縦と横のつながりを深める研修会』 講演「介護医療院について」 新栄会病院院長 永田雅治 事例を基にグループで情報と意見交換 「回復期と精神科が関わった高次脳機能障害を呈した患者の退院までの連携」 健和会大手町病院医療相談・医療福祉連携部社会科 松田睦美、 南ヶ丘病院医療福祉課 眞崎 翼、小倉リハビリテーション病院 中武聖貴	74

北九州市 在宅医療・介護連携支援センター 研修会実施一覧（令和元年度）

< N o . 2 >

	多職種連携研修会			医療介護従事者研修会		
	内容		参加者数	内容		参加者数
八幡	5月20日	「ＡＣＰの実例検討」 「地域の医療介護従事者の活動報告」 「地域の方々の活動報告」	98	1月19日	講演「なんとめでたいご臨終」 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック 院長 小笠原文雄 パネルディスカッション 「急性期病院と在宅チームはどうすれば連携・協働できるのか～本人・家族が悔いなく穏やかに最期を迎えるために、私たちに出来ることとは～」 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック 院長 小笠原文雄 産業医科大学若松病院 緩和ケア・血液腫瘍科 寺田忠徳 ＪＣＨＯ九州病院 緩和ケア科 山口健也 浅川学園台在宅クリニック 院長 河野精一郎	123
	7月26日	『地域で足が弱ったら…』 ・脳梗塞で足がマヒしてしまったら ・足の骨折で入院したら（入院リハビリ） ・足を骨折してしまったら（通所リハビリ） ・デイサービスってどんなところ？（デイサービス） ・まちづくり協議会『健康づくり部会』の活動について ・買い物支援サービスの取り組みについて"	85			
	8月21日	講演「福岡東在宅ケアネットワークの活動について～多職種による在宅ケアネットワークによって地域がどのように変化したのか～」 福岡東在宅ケアネットワーク世話人 伊藤大樹、伊藤新一郎 「永犬丸地区の活動報告」八幡在宅医療・介護連携支援センター 「上津役校区の活動報告」上津役校区社会福祉協議会会長 久保田雅晴 「八幡あいあんネットが目指すもの」 権頭クリニック院長 権頭 聖	198			
	10月30日	『顔の見える関係になろう』 講演「上津役校区の見守り活動・サロン活動について」 「医療から見る要支援の方とは？」 ワークショップ 「地域で要支援１・２の方々を見守るには～専門職につなぐタイミング・日頃の見守りポイント・医療介護につながりにくい人ってどんな人？～」 「『ながら見守り』やってみよう～大変だと思えば続けられない！楽しく見守り活動を行う工夫、たくさん挙げてみよう！！～」	88			

北九州市 在宅医療・介護連携支援センター 研修会実施一覧（令和元年度）

< N o . 3 >

	多職種連携研修会		医療介護従事者研修会			
	内容		参加者数	内容		参加者数
戸畑	6月19日	『病院から在宅へ 戸畑区4病院の取り組み～継ぎ目のない支援体制を目指して～』 「今、在宅医療が注目されている背景」連携支援センター 戸畑区内4病院のプレゼンテーション 戸畑共立病院 落合佳代子、戸畑総合病院 門 輝穂 戸畑けんわ病院 大川内恵子、戸畑リハビリテーション病院 山中敬子 同職種でグループワーク 「入退院支援を理解した今！在宅復帰をどのように支援していくか～病院との連携を考えよう～」	151	4月17日	① 症例発表「在宅での多職種連携とは～障害を持ちながら在宅生活を望む夫婦の支援を通して～」 健和会訪問看護ステーションコスモス 管理者 山崎玲子 ② パネルディスカッション「事例をもとに、意思決定から在宅復帰支援までを、各職種でどう支えていくのか」 訪問看護師：健和会老人訪問看護ステーション・コスモス山崎 玲子 医療ソーシャルワーカー：戸畑共立病院 八尋千鶴 ケアマネジャー：ケアプランサービス天神 山田富江	102
	10月16日	『看取りケア ～多職種で“生きる”を支える～』 プレゼンテーション ・「看取りケアについて」戸畑リハビリテーション病院医師 木村英一 ・在宅看取り「がん終末期の支援～それでも夫と過ごしたい～」 戸畑区医師会訪問看護ステーション 矢野千鶴 ・施設看取り「さわやか福ふく館施設看取りについて～その人らしい最期を支える～」 さわやか福ふく館 井上公二 ・施設看取り「一緒に悩んでいきましょう～残された時間を幸せに過ごすために～」 ふれいあいの里とばた 佐名優美 多職種でのグループワーク	103	8月22日	「知っていますか？HIVのこと エイズのこと～ひとりひとりが正しい知識を身につけよう～」 産業医科大学 医師 鈴木克典、看護師 田中 美佐子、 薬剤師 稲村由香、社会福祉士 野田雅美	79
	2月19日	『あなたと医療・介護がつながる”安心”』 講演「北九州医療・介護連携プロジェクト、とびうめ@きたきゅうについて」 「八幡モデル事業の経過報告」 北九州市保健福祉局地域医療課 係長 山本賢志 八幡在宅医療・介護連携支援センター 松本麻子 シンポジウム「～教えて「とびうめ@きたきゅう」のこと～」	100	12月12日 (門小戸合同)	「一笑一生！笑いとコミュニケーション～初めましての場を和ませるコツを教えます～」 おしゃべりセッションの会代表 お笑い理学療法士 日向亭 葵	288
若松	9月19日	『精神症状を抱える方の多職種による在宅継続支援について考える』 事例検討・グループワーク「統合失調症の方の事例」 住田病院 ソーシャルワーカー 高崎壮士	76	7月9日	「腎不全を見直そう！」 田村内科クリニック 院長 田村雅仁	89
	11月21日	『精神症状を抱える方の多職種による在宅継続支援について考える』 事例検討・グループワーク「うつ病の方の事例」 ケアプランセンターなずな ケアマネジャー 杉村貞明 北九州市立医療センター 緩和ケアセンター 太郎良純香、佐々木雅子	68	12月19日	「食につながる口腔ケア」 たなかりょういち歯科医院 田中領一	29